

豊後大野市議会議長 沓掛 義範 様

豊後大野市長 川野 文敏



市民と議会の意見交換会における市民から市に対する意見・質疑について（回答）

令和 7 年 12 月 25 日付け豊大議第 1225001 号で依頼のありました標記の件について、下記のとおり回答します。

## 記

### 1 コミタクの利用方法及び運行地域の拡大と地域主導によるライドシェアへの取組について

コミタクの利用申込みは、スマートフォンのアプリを利用しないとできない。コミタクを利用するのは、運転免許証を返納した方や運転免許証を持っていない高齢者が多いと思うが、高齢者がスマートフォンのアプリを使いこなすというのは難しいのではないか。利用者を増やすためにも電話予約などの方法はできないか。

今は清川町の一部と千歳町でしか運行されていないが、ぜひ他の町でも運行していただきたい。

また、公共交通の手が届かない部分を地域主導のライドシェアで補えないか。市内でも地域によって事情は異なると思われるので、それぞれの地域の住民を中心に民間主導で実施できないか。

（回答）

コミタクにつきましては、令和 7 年 3 月から千歳町の全域と清川町の一部地域において実証運行を開始しているところです。LINE アプリを使って予約し、その予約状況により AI が配車やルート設定を行い、自宅から目的地の玄関前まで、ドア to ドアで運行しています。これは、AI が配車やルート設定を行うため、LINE アプリで予約を行っていただく必要があります、電話での申込みは受け付けておりません。しかしながら、スマートフォンでの操作が分からないという方もおられます。そのため、スマホ教室を開催している市社会福祉協議会と連携し、対象地域の高齢者の方に、初期設定や予約方法の説明を行っているところです。今後も市社会福祉協議会と連携しスマホ教室を開催するなど、LINE アプリの利用支援に取り組んでまいりますので、アプリ予約へのご理解をお願いいたします。

他の町での運行につきましては、令和 8 年 2 月から、清川町の白山地区と三重町の一部地域に運行区域を拡大します。今後も市内タクシー会社と協議しながら、順次運行区域の拡大を図っていきます。

地域主導のライドシェアにつきましては、地域主導のボランティア輸送のことを指していると思われまます。県内でも集落単位等で局所的に取り組まれている事例がありますが、高齢化で担い手が確保できず撤退したり、その間に交通事業者も撤退して頼むに頼めないといった事例もあります。また、利用者の安全性確保、事故やトラブル発生時の対処も課題であり、地域全体の将来

にわたっての移動と担い手の維持の点からも、慎重な判断が必要と考えます。本市としては、鉄道や路線バス、コミュニティバスによる地域間を結ぶ公共交通に加え、新たに自宅から身近な病院・スーパー等の間を結ぶ「コミタク」により、住民の利便性の向上に努めてまいります。

## 2 旧西部小学校の跡地利用について

大野町の旧西部小学校の旧校舎は、以前「豊後のひつぎ」という会社が利用していたが、知らない間に退去していた。なぜ退去したのか、また、今後の跡地利用についてどう考えているのか。地元への説明会を市の管財係へお願いしているが、未だ何の返答もない。住民は旧西部小学校の跡地が荒れていくのではないかと心配している。

(回答)

退去については、契約の満了によるもので、今後の跡地利用については、現在、投票所となっている旧ランチルームを含めた一体的な利活用を考えています。

## 3 少子化対策と清川町の保育所の設置について

清川町にあった保育園が閉鎖され、保育園が1園もない状態になっている。4月に市長との意見交換会を行い、今後どうしていくのか検討してほしいとお願いしているが、未だに回答がない。保育園がないということは、地域に若い人が住みようがない。各町に小学校がある間は1つは保育園を残さないと、子育て施策をいろいろとしているが、保育園がなくなって子供がいなくなったら、そんな施策をしても何の意味もない。

他市では社会福祉協議会と協力して、小規模保育所として運営しているところもあるので、そういったところを参考に各町に1園は残して、子育てしやすい環境づくりに取り組んでいただきたい。

(回答)

昨年4月の意見交換会時に出された、保育園の設置に関する検討依頼を踏まえ、教育保育施設等の運営基準、現在の利用状況、保護者の教育保育施設等の選択動向を基に検討を進めてきました。

清川町内においては、令和6年度末をもって、これまで運営をしてきた私立認定こども園が、経営継続が困難であることを主な理由に撤退しました。

このことを受け、当該認定こども園は、在籍する保護者を対象に説明会を開催し、各保護者の意見等を基に、同法人が運営する系列施設や近隣の教育保育施設等への転園をお願いし、現在に至っています。

本市における公立認定こども園については、小学校就学前のこどもに対する教育及び保育並びに保護者に対する子育て支援を行うため、幼保連携型認定こども園として豊後大野市おがたこども園を設置し、市内外の入所要件に該当する就学前のこどもに利用されています。

教育保育施設等の利用に係る保護者の選択理由は、入所希望のご家庭毎にさまざまであり、自宅や職場からの通いやすさ、教育保育方針や保育内容への共感、一定の集団としての遊びや活動を通して人と関わる力や社会性を育みたいなどとなっています。

このような状況に加え、今後の入園者数の推移や市内教育保育施設等利用状況を踏まえると、新たな教育保育施設等の設置は困難と考えています。

## 4 道の駅きよかわにあるステージの修繕について

道の駅きよかわにあるステージの屋根が傷んでいるので、早急に修繕をお願いしたい。

(回答)

令和7年12月26日に現地を訪問し、状況を確認しました。

令和8年1月6日に指定管理者と面談し、今年度のステージイベントの利用状況を聞き取った結果、年間2回程度の利用状況でした。

今後、改めて指定管理者と協議し、修繕について検討します。